

140 ラザロの復活(2)(イエス、涙を流す・ラザロを生き返らせる)

ヨハネによる福音書 11 : 28~44

▶イエス、涙を流す (ヨハネによる福音書 11 : 28~37)

28 (姉の) マルタは、こう (→27 節 : はい、主よ、あなたが世に来られるはずの神の子、メシアであると私は信じています) 言ってから、家に帰って姉妹のマリアを呼び、「**先生がいらして、あなたをお呼びです**」と (大騒ぎになるといけないので、他の者に聞こえないように) 耳打ちした。

→神の子、イエスこそがイスラエルを治めるために神が選んだ者である。メシアはヘブライ語「マシアハ」で「油注がれた者」の意味である。

29 マリアはこれを聞くと、すぐに立ち上がり、イエスのもとに行った。

30 イエスはまだ (ベタニアの) 村には入らず、(悲しみにふけるマルタとマリアを慰め、教えを与えようと) マルタが出迎えた場所に (待つて) おられた。

31 (しかし) 家の中でマリアと一緒にいて、慰めていたユダヤ人たちは、彼女が急に立ち上がって出て行くのを見て、(ラザロが葬られている) 墓に泣きに行くのだろうと思い、(マリアの) 後を追った (ので、イエスは二人への慰めや教えができなくなってしまった)。

32 マリアはイエスのおられる所に来て、イエスを見るなり足元にひれ伏し (→平伏し、ルカ 10 : 39)、
「主よ、もしここにいてくださいましたら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに」と言った。

→ (ヨハネ 11 : 21~22) マルタはイエスに言った。「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに。しかし、あなたが神にお願いになることは何でも神はかなえてくださると、わたしは今でも承知しています。」

→神の救いや恵みを忘れてしまった、私たちにも頻繁にある「信仰の限界」が記されている。

33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いている (→この中の一部は雇われ、職業的に号泣している人たちもいる : 泣き女、泣女 (なきめ)、泣き屋) のを見て、心に憤りを覚え、興奮して、

34 言われた。「**どこに葬ったのか**。」彼らは、「**主よ、来て、御覧ください**」と言った。

→聖書には「心に憤りを覚え、興奮して」は、人間イエスとしてのここだけ表現である。

35 (墓に向かう途中、人間) イエスは (二人の悲しみに触れ) 涙を流された。

→声を出さずに泣くを意味し、この言葉は、新約聖書の中でここだけに使われています。

→人間イエスの人間としての感情、死に対する憤り (人性の深みの感情) で、イエスの神性を描くことに中心を置いているヨハネの記述には珍しく、ここではイエスの人性を描いている。

36 ユダヤ人たちは、「**御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか**」と言った。

▶イエス、ラザロを生き返らせる (ヨハネによる福音書 11 : 37~44)

37 しかし、中には「**盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないようにはできなかったのか**」と言う者もいた。

38 イエスは、再び心に憤りを覚えて、墓に来られた。墓は洞穴で、(野獣等が侵入し、荒らすのを防ぐため) 石でふさがれていた。

39 イエスが、「**その石を取りのけなさい**」と言われると、死んだラザロの姉妹マルタが、「**主よ、四日もたっていますから、もうにおいます**。」と言った。

CHECK 自分の「心の石」は取り除いているか?



40 イエスは、「もし①信じるなら、**神の栄光**が②見られると、言っておいたではないか」と言われた。

【参考】新約聖書にある「神の栄光」(一部)

タイトル(書名)	章:節 聖句	〔検索対象総数 : 9 / 聖句等の総数 33250 <神の栄光>9個<栄光>9個〕 [検索語彙 : 神の栄光・栄光]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S ヨハネによる福音書	11:40	イエスは、「もし信じるなら、神の栄光が見られると、言っておいたではないか」と言われた。	
S ローマの信徒への手紙	3:23	人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、	
S ローマの信徒への手紙	5:2	このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。	
S ローマの信徒への手紙	15:7	だから、神の栄光のためにキリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに相手を受け入れなさい。	
S コリント信徒への手紙 I	6:20	あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。	
S コリント信徒への手紙 I	10:31	だから、あなたがたは食べるにしろ飲むにしろ、何をするにしても、すべて神の栄光を現すためにしなさい。	
S コリント信徒への手紙 II	4:6	「闇から光が輝き出よ」と命じられた神は、わたしたちの心の内に輝いて、イエス・キリストの御顔に輝く神の栄光を悟る光を与えてくださいました。	
S エフェソの信徒への手紙	1:14	この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり、神の栄光をたたえることになるのです。	
S ヘブライ人への手紙	1:3	御子は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、万物を御自分の力ある言葉によって支えておられますが、人々の罪を清められた後、天の高い所におられる大いなる方の右の座にお着きになりました。	

41 人々が(墓の)石を取りのけると、イエスは目を仰いで(祈り)言われた。

「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。42 わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。しかし、わたしがこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたがわたしをお遣わしになったことを、彼らに信じさせるためです。」

43 こう言ってから、(ラザロを復活させようとして)「**ラザロ、出て来なさい**」と(群衆に聞こえる)大声で叫ばれた。

44 すると、死んでいた人が、手と足を(亜麻)布で巻かれたまま出て来た。顔は(布の)覆いで包まれていた。イエスは人々に、「(布を) **ほどいてやって、行かせなさい**」と言われた。

【参考】エフェソの信徒への手紙 2:1~7

さて、あなたがたは、以前は自分の過ちと罪のために死んでいたのです。この世を支配する者、かの空中に勢力を持つ者、すなわち、不従順な者たちの内に今も働く霊に従い、過ちと罪を犯して歩んでいました。わたしたちも皆、こういう者たちの中において、以前は肉の欲望の赴くままに生活し、肉や心の欲するままに行動していたのであり、ほかの人々と同じように、生まれながら神の怒りを受けるべき者でした。しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、——あなたがたの救われたのは恵みによるのです——キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。こうして、神は、キリスト・イエスにおいてわたしたちにお示しになった慈しみにより、その限りなく豊かな恵みを、来るべき世に現そうとされたのです。